

2005年5月10日

データ監査ツール「ACL」を発売開始

北米で内部監査ツールの標準とも言われ世界の企業が認めた「ACL」を日本語化。企業戦略にも影響する新時代の監査業務を提唱

PCソフトの開発・流通を手掛ける株式会社エージーテック（本社：東京都千代田区 / 代表取締役：安藤由男）は、ACL Services Ltd.（本社：カナダ、バンクーバー）が開発した企業向けデータ監査ツール「ACL」（エー・シー・エル）の日本語版を2005年6月1日より発売開始いたします。

「ACL」は多くのデータの中から、特異なデータを見つけだすアプリケーションソフトウェアです。様々な条件を組合せて設定することで、エラーデータや不正データを発見し、傾向や問題を分析して、わかりやすい形でレポートを作成することができます。長年の実績と先進性を合わせ持つ「ACL」は Fortune 誌の Top 100 企業中 92 社、Top 500 企業中でも 70%以上の企業で採用されており、内部監査への要求が厳しい北米の多くの企業や各国の政府機関において標準的な内部監査ツールとなっています。国内では北米向けのビジネスをしている企業や、北米ブランチを持つ企業、また各コンサルティング会社などで古くから英語版が利用されています。今回多くのご要望にお応えし、弊社より日本語版パッケージを発売することになりました。併せて7月から日本語による教育コースも提供を開始いたします。

「ACL」は強力な機能と使いやすさを兼ね備えており、業務分析の深さと幅を広げ、生産性の向上を図ることが可能になります。また企業リスクの低減やコンプライアンスの保証、コストの抑制、収益性の向上など、現代の企業に要求される多くの要素を側面から支援します。大量データの高速一括処理が可能になったことで、一元性、整合性が保証され確実な監査・分析業務が可能になります。

大企業から個人企業まで、監査は企業経営にとって重要な要素ではありますが、財務・経理部門のバックエンドにあり、副次的な作業という見方が多かったのも事実です。しかし「ACL」を利用するこれからの監査業務は、会社の戦略にも影響を与える重要なポジションになると考えられます。内部監査に厳しい米国において、さらに導入が決定された SOX (Sarbanes-Oxley) 法 (米国企業改革法) は、今後の企業に求められる公平性、透明性が益々重要になることを意味しています。これからの日本の企業でも高まることが予想される内部監査への対応には「ACL」のようなツールが必須となります。このツールにより効率的な監査業務を実現し、また監査・分析結果を経営に反映する積極的な企業経営が可能となります。

今回の「ACL」の発売を記念し、5月20日（金）に発表記念カンファレンスを開催いたします。詳細はエージーテックのWEBサイト (http://www.agtech.co.jp/news/event/acl_launch.html) をご参照ください。

■ 「ACL」の機能と特徴

【すぐに使える監査機能】

データの重複、欠落、並び順の検査、年齢調べ、集計、分類、統計ならびにサンプリングなど、データ監査に必要な機能を多数備えております。

【高度なレポート機能】

分析結果はすばやく表形式、あるいは直感的なグラフで表示が可能です。他のアプリケーションと連携を行い、Crystal Reports や監査調書パッケージ、HTML などと統合することができます。

【大規模データへの対応】

ACL は表形式でデータを表示することができますが、一般的な表計算ソフトのように読み込みデータ量に制限がありません。必要なデータを一回の処理で行うため、検査の確実性が維持できます。

【完全なデータ整合性】

データは読み込み専用アクセスで分析しますので、データの質と整合性を維持します。

【使いやすさ】

データ定義ウィザードや GUI インターフェースでオフィスツール相当の操作性を提供します。

【強力で安定した分析力】

データ分析用に用意されたコマンドが複雑なデジタル分析まで対応します。

【自動化、メール通知】

強力なスクリプト機能が分析・テストを自動化します。データ解析のターンアラウンドを短くすることで、より深い分析や洞察を可能にします。また分析結果を自動でメール通知させることも可能です。

■ 「ACL」の使用例

【トレンド分析、例外検出、潜在的問題の抽出】

データの特徴を分析しトレンドレポートを作成、例外データの発見に加え、潜在的に含まれている問題点を抽出します。

【エラー検出、不正データの発見】

条件設定によりエラーとなるデータの抽出や報告、意図的な不正データの発見が可能です。

【管理上の問題発見、コンプライアンスの確認】

運用上の不都合となるデータの抽出や、設定により法令の範囲を規定することで、コンプライアンスの確保が可能になります。

【財務データなどの取引履歴確認と分析】

実際の取引年月から有効なデータを抽出したり、時間を争う財務データの分析が可能です。

【データの浄化と標準化】

抽出した問題点をすばやく元データに反映することで、誤りのないデータにすることができます。また特異データの傾向から標準化を行います。

■ 価格

製品	価格 (税込)
ACL Desktop Edition 日本語版 (1 ユーザ)	¥399,000

- ※ 上記価格は一部の抜粋です。数量ディスカウントや他のエディションに関してはお問い合わせください。
- ※ 販売方法は弊社直販のみとなりますので、お問い合わせは弊社営業まで。

■ 製品写真・スクリーンショット・ロゴなど

報道関係の皆様向けに「ACL」の製品写真、スクリーンショット、製品ロゴ等を用意しております。

製品写真・製品ロゴ・スクリーンショット>>>

以下の URL にデータを用意してございますので、ご活用ください。

<http://www.agtech.co.jp/press/>

評価版 >>>

本製品の評価をご希望される場合は

TEL : 03-3293-5300 (担当 : 河村) または E-mail : PR@agtech.co.jp までご連絡ください。

■ 株式会社エージテックについて

1984年4月設立以来、組み込み用データベースソフト Pervasive.SQL を中心に開発者向け製品を輸入、日本語化して販売を行っている。扱っている製品は4つのカテゴリに分けられ、データベース系の主な製品は Pervasive.SQL (旧 Btrieve)、ビジネスインテグレーション&インテリジェンスでは Pervasive Data Integrator や Crystal Reports、開発者向け製品系では IP*Works!などのコンポーネント製品と Dotfuscator や CodeCharge Studio などのツール類、そして IT プロフェッショナルツール系では WinBatch や PC-Duo Remote Control などを販売している。

※ ACL、ACL ロゴは ACL Services Ltd.の商標または登録商標です。

※ その他の会社名、製品名などは一般に各メーカーの商標または登録商標です。

■ 本件に関する一般からのお問い合わせ先

株式会社エージテック 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-21-1

TEL : 03-3293-5283 FAX : 03-3293-5270

URL : <http://www.agtech.co.jp/> E-Mail : info@agtech.co.jp

◆ 報道関係の方々からのお問い合わせ先

株式会社エージテック 担当:河村

TEL : 03-3293-5300 E-mail : PR@agtech.co.jp